



早いもので今年度の最終号「あさがお」になりました。

今月は、5歳児クラスのお友だちとのお別れを意識する場面や活動がありました。ふと気が付くと、花壇の前に並んだ5歳児クラスのお友だちから歌が聴こえてきました。卒園の時に贈る歌をうたっていました。その周りには自然に他学年のお友だちが集まり、あたたかいまなざしで歌を聴いていました。

自ら選んで遊ぶ遊びの中にも卒園が近づいてきているという意識の芽生えが感じられました。そのような姿を見ながら、3歳児と4歳児のお友だちは、相談をしながら「さよならパーティー」の準備を進めていました。

～多様な主体性を育む～
自責思考を基本にし、常に主体的であると同時に共同的・集団的に
生きようとする子どもを育成する

🎵 3月8日(金)全園児が集い「さよならパーティー」スペシャルバージョンを行いました。 🎵



企画・進行する【4歳児】



仲間とともに挑戦する



異年齢でふれあいを深める

この集いの進行を担ったのは4歳児のお友だちです。事前に、どのように集いを進めていくのかを話し合いからスタートしました。今年度の取り組みで大切にしてきた「子ども会議」の中で子どもたちの意見が飛び交いました。これには、子どもたち自身に多様な経験があるからこそ話し合いが成立するのだと思います。今までの経験から、自分たちも周りのみんなもどのようにすれば楽しめるのか、5歳児クラスのお友だちにどのように思いを伝えるのか、話し合いは続きました。様々なアイデアを形にして、当日の集いを進めました。

進行は、企画された手遊びから始まりました。そして、みんなでふれあい遊びをしたり、年長組さんにインタビューをしたりしました。ここでも言葉による伝え合いが深まりました。「どうすれば走るのが速くなりますか？」など、質問にも大きい組さんへの憧れの気持ちが芽生えていることが感じられました。

5歳児クラスのお友だちは、質問を受けてしっかりと返答していました。中には、「幼稚園でどのようなことができるようになりましたか？」という質問を受けて、自信のついた縄跳びや鍵盤ハーモニカを披露していました。園生活の中で培ってきた力をみんなに認めてもらい、さらに自信をつけ、その達成感を味わいました。これは、manifestoの「キャリア」の中のいろいろなことに興味をもって挑戦する力の育成でもあります。自分の姿を他者から認めてもらうことが自己有用感につながると考えます。これらの力を身につけて就学する5歳児クラスのみならず、挑戦心をもって自己実現できる人に育っていると思っています。飛躍的に成長したみなさんの姿は素晴らしかったです。



精一杯答える【5歳児】



「大きい組さんすごいね。」

自信のもてたことを披露する



一人一人が輝く集いとなりました。

子どもたちに大人気♡あいママレストラン

年長組さんからリクエストのマジカルポテト♡



手作りの贈り物で
気持ちを確かめ合う



集いの最後まで気持ちを
伝える【3・4歳児】



「いい匂い〜♡」



お楽しみのおやつ
タイム♡



集いの最後は、お楽しみの手作りおやつタイムです。
愛先生が扮する「愛ママ♡レストラン」では、リクエストを受けて
心を込めて作りました。自分たちで栽培したジャガイモは、最高
の味だったようです。愛ママのマジカル入り♡

豊かな教育環境の下、発達に必要な体験を積み上げる中で
多様な主体性をもった幼児を育てる

豊かな体験を通して、子どもが成長していくことを家庭と園が共通理解しながら1年を過ごしてきました。家庭と園で連携し、協働しながら一人一人の子どもの育ちを促すことができつつあります。これらを維持し、遊びや活動の中で子どもが発達していく側面から総合的に捉え、現代の幼児の発達に必要な経験を作り出していきたいと思ひます。

そして、子どもたちには主体性をもちながら「何かに熱中する力」「他者を思いやること」「気持ちをコントロールする力」「最後までやりぬく力」をつけていくことがとても大切だと思ひます。今と変わらず一人一人をあたたく受け入れながら、子どもたちが夢中で遊び込めるように、そして子どもたちの未来には、社会情緒的スキルが育まれ心身ともに幸せだと感じられる人に育ててほしいと願ひながら幼児教育に取り組んでいきたいです。

保護者のみなさまには、幼稚園教育に対して情熱をもって様々な協力をさせていただきました。これからも、みなさまと力を合わせて細やかに教育をしていきたい、そして一歩ずつ着実に教育目標を達成していきたいと思ひています。

卒園するみなさん、進級するみなさん、本当におめでとうございます♡

☆あさがおイラスト:れいなさん

☆あさがおイラスト:かなとさん

(文責 松永 愛)